



「とりのようちえん」

7月になると鳥たちの巣立ちした幼鳥が見られるようになります。

右写真は6月下旬に撮影したシジュウカラの巣立ち幼鳥。

白い部分がクリーム色で(巣立ち直後はもっと黄色い)、「ネクタイ」と呼ばれる喉から下腹部までの黒帯がまだ不完全。

この時は近くに父鳥がいて、芋虫をくわえていましたが、巣立ち後しばらくは親から餌をもらって生活しています。

他にもヤマガラ、ハシブトガラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、コゲラ、センダイムシクイ、メジロといった鳥の幼鳥も出てきますが、それらは7月になると種関係なくひとつの大きな群れで行動することがあります。



さながら「とりのようちえん」、弱い鳥たちが集まって外敵に備えつつ、幼鳥を育ててゆきます。

幼鳥で目立つのはアカゲラ(右下写真)。

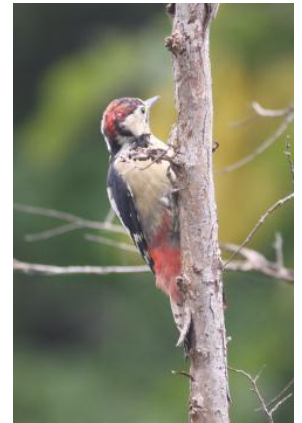
アカゲラの成鳥は雄のみ後頭部が赤いですが、幼鳥は雌雄別なく頭の上が嘴の付け根から後頭部まで赤くなります(9月いっぱいくらいまで)。

頭が赤いことで、オオアカゲラの雄成鳥と見間違ふ可能性があります、オオアカゲラの方が大きく、オオアカゲラの胸から腹にかけての白い部分にはアカゲラにはない黒い縦斑があるため、冷静に見れば間違ふことはありません。

アカゲラの親子も「とりのようちえん」に一緒にいることがあります。

園内では、アオジ、ホオジロ、ウグイスの幼鳥は割とよく見られますが、キビタキやオオルリなど他の幼鳥は見られ機会が少ないです。

夏の森は鳥たちの若い力にあふれています。



7/18 (金) カルチャーナイト「空き缶を使ったランタン作り」

カルチャーナイト(注)の一環として、旭山記念公園では、「空き缶を使ったランタン作り」を行います。

たまには夜の旭山の空気に触れながら、アウトドアで役に立つランタンを作ってみませんか？

どなたでもご参加できます、お気軽にお越しください。

7月18日(金)、16時開始(19時頃まで)、参加費100円

※事前申し込み不要、直接お越しください

材料がなくなり次第終了します



◎カルチャーナイトとは

- ・ 公共施設や文化施設、民間施設を夜間開放し、各施設がもっている専門分野や特色を生かした文化プログラムを、市民が参加して楽しむ行事です。
- ・ 大人も子どもも、その地域に住む皆さんはもちろん、観光客の皆さんも、誰でも参加することができます。
- ・ 開催時間は、17:30から22:00までを基本としますが、各施設によって異なります。
- ・ 参加施設の入場料については、有料のところと無料のところがあります。
- ・ 市民と企業と行政が協働して創る北海道の地域文化活動です。

「星空観察会」土星が見えた！

6月27日、青少年科学館の移動天文車とスタッフをお招きし、「星空観察会」を行いました。

当日、昼までは晴れていたものの、時間を追うごとに雲が増え、風もやや強く、星空観察には最適とはいかない気候でしたが、それでも薄い雲の向こうに幾つかの星を見ることができました。

参加者およそ70名、5つの班に分かれ、19時半に「ふんすい広場」付近に移動し観察開始。

まず見えたのは、南の空で雲に負けずに赤く輝く火星。

その少し北寄りにうしかい座の一等星アークトゥルス、北東低くに「織り姫」ベガ、さらに北西には雲の向こうに薄く北斗七星も見ることができました。

移動天文車の大きな天体望遠鏡で観察。

見えたのは、土星でした。

土星の輪は話としてはよく知られていますが、見たことがある人は意外と少ないのではないのでしょうか。

その土星と輪がくっきりと見え、参加者から歓声が上がり、感動の輪が広がりました。

見えた星は少なかったけれど、土星が見えたことは大きな体験であり、思い出にもなることでしょう。

「星空観察会」は年に一度開催しています。



※著作権フリー画像です
当日のものではありません

「定例自然観察会」行っています

旭山の同じ道を歩いて自然の移ろいを観察してゆく「定例自然観察会」を行っています。

事前申し込みご不要です、お気軽にお越しください。

◎定例自然観察会

2014年7月6日、8月3日、9月7日、10月5日、11月2日

(いずれも日曜日)

森の家集合、9時開始、2時間ほどの予定

参加費：お一人様1回100円(保険代として)



↑アオバト
ペニバナイチヤクソウ



レストハウス夜間営業しています

この夏、レストハウスは土日のみ20時まで営業しています(その他は17時まで)。

夜景を見ながら、コーヒーを飲んだり、軽食をとることができるようになりました。

夜間営業は8月いっぱいまでです、ぜひお越しください。

※夏恒例の「かき氷」は7月中旬くらいから始めます。



イベントのお申し込みはいずれも「森の家」への電話(下記)、もしくは直接お越しください。

森の家の開館時間＝電話受付時間は、金、土、日、月、祝日の10時～16時です。

編集 後記

北海道は梅雨がないはずですが、今年の6月はまるで「蝦夷梅雨」でした。

緑の爽やかさをもっとも感じられる季節、今年は損したような気分になりました。

7月はその分も晴れてほしい、できれば、あまり気温は高くなりすぎずに...

しかし、長雨にもめげない植物のしたたかさが感じられた年でした。(編集人：皆川昌人)



公式サイト

「アカゲラ通信」第8号 2014(平成26)年7月1日発行
発行：(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所
住所：〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先：電話 011-200-0311(土日祝日 10時～16時) FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahi-yama/>